

第 100 回(記念) 医療ビジネス研究会のご案内

お蔭様で「医療ビジネス研究会」は 2006 年の発足以来、第 100 回目を迎えるに至りました。これもひとえに講師をお引受け頂きました方々のご厚情によるところが大きく、あらためて感謝申上げる次第です。今回は順天堂大学の金子氏をお招きし、ご自身の研究の話から、臨床、教育、研究と多面性をもつ組織のマネジメントに至るまで、社会の要請と共に変化する医学部の活動や取組みに関しお話し戴きます。医療分野の話ではありますが、高度化する産業界におきましても共通項が多いことに驚かされます。

同大学におきましては最先端医療研究はもとより、過去には現役総理大臣の緊急入院先であったり、天皇陛下の心臓手術を担当されるなど、附属病院は信頼される医師がいる医療機関として高い評価を得ています。また、順天堂医院(御茶ノ水)は国際サッカー連盟(FIFA)により、「FIFA メディカルセンター」に認定(2015 年 1 月)され、エディージャパン(ラグビー日本代表チーム)やハリルジャパン(サッカー日本代表チーム)のチームドクターは共に同大学の整形外科学講座に所属されるなど、スポーツ界におきましても同様の評価を得ています。さらに他に先駆けた取組みとして、予防医学の拠点化を目指す「スポーツロジセンター」を設置し、生活習慣病や介護状況を回避するなど、心身の予防や治療のための包括的プロジェクトに注力しています。従来の治療を目的とした医療から、トランスレーショナルリサーチ(TR:蓄積された基礎研究の成果を臨床で実践させる研究)による、予防を包括する先進的医療を実践し、スポーツロジーの専門スタッフの育成・派遣を行います。

医療に限らず人の命に関わる組織においてはリーダーの指揮下、指示命令系統が明確で一糸乱れぬ行動が不可欠です。逆に新しいことや先端的なことを創造する現場では上下の柵や先入観を取除き、自由闊達な発想や有機的なコミュニケーションが必要です。医療に関わる基礎教育はもとより、臨床においては徹底したチーム医療を実践させる統率と、研究においては専門性を深化させる柔軟な発想と、相反する役割を両立させる教育と環境整備が求められています。さらには、年々薄れていく、日本人が持つ高い精神性(高いモラルと勤勉さ)を如何に伝授するか、他の分野と比べると要求値が高く、極めて社会性の高い分野であることが認識させられます。その様な組織を束ね、夫々の専門分野で高い精神性を備えた優秀な人材を輩出させるマネジメントの妙をご披露戴きます。

戦後の日本を支えてきた効率を求める組織活動に適合する人材の育成だけではなく、効果(価値創造)が求められる分野で活躍できる人材や、効率と効果の両面を兼備えた人材育成が要請される点は医学部だけの課題ではありません。高学歴者や高度な専門性を持った人材で構成される組織においては、統率とモチベーションを両立させながら大きな成果を出すという共通した命題でもあります。医療関係者のみならず、マネジメントに携わる方には是非ともお聞き戴きたい内容です。奮ってご参加いただくようご案内申し上げます。

2015 年 11 月

特定非営利活動法人 医療事業再生機構

記

- テーマ:「最先端医療を支える臨床・研究・マネジメント」=順天堂大学整形外科学講座から=
- 講師:金子和夫氏 医学博士 順天堂大学整形外科学講座 主任教授、日本整形外科学会代議員、東日本整形災害外科学会理事、日仏整形外科学会会長、フランス整形災害外科学会名誉会員、日本体育協会公認スポーツドクター
- 開催日時:2015 年 11 月 20 日(金曜日)18:30~20:30

以上

※ 当研究会は完全予約制です。【要参加票】

参加を希望される方は御手数ですが OMBR:(特非)医療事業再生機構のホームページよりお申込戴くか、info@npombr.org 宛にご連絡ください。